

南部町・南部川村合併協議会の調整内容

産業部会

協議項目	各種事務事業の取扱い	関係項目	農林業関係事業		
調整の方針	(案) 農業(農林業)振興協議会については、新町において新たに設置する。				
	南 部 町	南 部 川 村	具体的な調整内容		
各種農業団体との関係(補助金)	団体の概要	名称	南部町農業振興協議会	南部川村農林業振興協議会	農業(農林業)振興協議会については、新町農業者のリーダー組織と位置づけ、組織体制、活動内容については新町において調整する。
		組織・構成	農業者、町議員、農業委員、学識経験者(JA・南部高校)	地域農業者、村議員、JAみなべ、農業委員会、森林組合	
		任期	3年(H14.7.1~H17.6.30)	3年(H12.4.1~H15.3.31)	
		会長	尾崎 剛通	西 定吉	
		予算額(H13年度)	2,305千円	4,700千円	
		目的	本町の農業の総合的な振興を図る	本村における地域農林業者の経営安定・向上に資すると共に、村農業行政に積極的に参画し、農林業の総合的な振興を図ること	
		主な事業	農業改善普及及び事業推進 農家経営の合理化 農家生活の改善向上を図る	梅を中心とする農業改良 普及推進事業、経営の合理化、農家生活の改善向上、各種農林業研究団体の育成等関係機関との連帯を密に農林業の振興を図る	
	行政との関わり	事務局	産業振興課	産業課	
		事務内容	関係機関との調整並びに会計事務	関係機関との調整並びに会計事務	
		名称	南部町農業振興協議会助成金	南部川村農林業振興協議会補助金	
		目的			
		補助金額	1,300千円	3,700千円	
	その他	補助金(H13年度)	JAみなべより 745千円	JAみなべより 1,000千円	

南部町・南部川村合併協議会の調整内容

産業部会

協議項目	各種事務事業の取扱い	関係項目	農林業関係事業	
調整の方針				
	南 部 町	南 部 川 村	具体的な調整内容	
農業（農林業）振興協議会の構成組織	団体の名称	南部町 4 Hクラブ連絡協議会	南部川村梅郷クラブ	
		農業士会	農業士会	
		南部町生活研究グループ	南部川村生活研究グループ連絡協議会	
		地域リーダー協議会	わかばグループ	
		ハッピーライフ推進協議会	果樹研究会	
			野菜研究会	
			青年農業経営者協議会	
			林業研究会	

南部町・南部川村合併協議会の調整内容

産業部会

協議項目	各種事務事業の取扱い	関係項目	農林業関係事業	
調整の方針	(案) 農業関係団体への支援及び補助については、新町において調整する。			
	南 部 町	南 部 川 村	具体的な調整内容	
農林業関係まちづくり活動団体支援	団体の概要	名称	梅の里村づくり塾	梅の里源蔵塾
		組織・構成	活性化推進本部（農業振興協議会委員）	地域農林業者・梅加工業者・建設業者・会社員等
		任期	3年	3年
		会長	塾長 尾崎 泰弘	塾長 細川 庄三
		組織規模		19名
		決算額		3,487千円（平成13年度）
		主な事業	農業農村活性化の推進、リーダー等人づくりや調査研究（地域リーダー協議会・ハッピーライフ推進協議会への支援）	特産品のPR活動、都市農村の交流活動、後継者育成活動等を実施。
	行政との関わり	事務局	産業振興課	産業課
		事務内容	関係機関との調整並びに会計事務	関係機関との調整事務
		名称	梅の里村づくり塾助成金	
		目的		
		補助金額	1,000千円（平成13年度）	

南部町・南部川村合併協議会の調整内容

産業部会

協議項目	各種事務事業の取扱い	関係項目	農林業関係事業		
調整の方針	<p>(案) 梅振興事業については、新町において引き続き実施する。梅振興団体への補助金、組織については新町において調整する。</p>				
うめ対策協議会 など梅振興事業	団体の概要	正式名称	紀州梅の会		
		目的	紀州梅産地の市町村、農協が一体となり統一した消費宣伝活動を行うことにより、紀州ブランドの更なる発展を目指す。		
		組織・構成	田辺市、南部町、南部川村、上富田町、印南町、中辺路町、大塔村、日置川町、すさみ町、みなべ農協、紀南農協、田辺市農協、印南町農協、上富田町農協、中辺路農協、日置川農協、すさみ町農協、和歌山県農協連		
		役員体制	会長 脇中 孝 田辺市長 副会長 山田 五良 南部川村長 副会長 山崎 繁雄 南部町長 副会長 虎伏 章 紀南農協組合長		
		事業内容	紀州梅(青梅)について、産地で統一したポスターやパンフレットを作成し、消費地へ広く配布するとともに、梅の効用や加工方法について広くPRし、消費拡大を図る。 1. ポスター及びパンフレット、レシピカードの作成 2. 加工実演販売講師の育成		
		予算額	負担金の合計額 2,700千円(負担割合 均等割 + 各市町村面積割)		
		事務局	田辺市農林課		
	行政との関わり		南 部 町	南 部 川 村	具体的な調整内容
		事務局体制			梅産業を取り巻く状況は厳しくなっているため、これまでどおり支援していく方向で調整していかなければならないが、課題は多く、早急に対応が必要であり、関係者や団体の協力が必要である。 新町において梅に関する組織の見直しを検討し補助基準の見直しを図る。 関係団体 紀州梅の会 紀州梅干PR推進委員会 市町村うめ対策協議会 南部郷梅対策協議会 事業 日本一うめ産地支援事業 梅対策等支援事業
		補助金	170千円	317千円	
補助目的	基幹産業のひとつである青梅の消費宣伝を単一市町村で行うのではなく、地域の官民が合同で行うほうがより効率的である。	基幹産業のひとつである青梅の消費宣伝を単一市町村で行うのではなく、地域の官民が合同で行うほうがより効率的である。			

南部町・南部川村合併協議会の調整内容

産業部会

協議項目	各種事務事業の取扱い		関係項目	農林業関係事業		
調整の方針	(案)					
	団体の概要	名称	紀州梅干しPR推進委員会			
		目的	梅加工業者で構成される田辺と南部の梅干し共同組合が一体となり、統一した消費宣伝活動を行うことにより、紀州ブランドの基盤強化と更なる発展を目指す。			
		委員会構成	紀州田辺梅干し協同組合・紀州南部梅干し協同組合 委員長 芝 耕三郎			
		事業概要	「紀州梅干し」という統一したネーミングにより産地内に看板を設置したり、消費地の駅構内に電照看板を設置するなど、消費者へ広く「紀州」の銘柄をアピールするとともに、マスメディアやスポーツ界を活用し、広くPRを行い、消費拡大を図る。また、梅干しの規格を統一し、品質の向上に努める。 1. 産地内国道沿い等への看板設置 2. 消費地での看板設置 3. エコハガキによるPR			
		事務局	事務局：南部川村商工会			
		予算額	9,000千円(平成13年度)			
	行政との関わり	南 部 町		南 部 川 村		具体的な調整内容
		補助金	950千円	950千円		
		補助基準	事業費に対し、県1/3、市町村1/3を補助。平成13年度より県費補助無し。市町村負担については、田辺市、南部川村、南部町において梅干し組合員の件数割合で算定	事業費に対し、県1/3、市町村1/3を補助。平成13年度より県費補助無し。市町村負担については、田辺市、南部川村、南部町において梅干し組合員の件数割合で算定		

南部町・南部川村合併協議会の調整内容

産業部会

協議項目	各種事務事業の取扱い	関係項目	農林業関係事業			
調整の方針	(案)					
	南部町	南部川村	具体的な調整内容			
団体の概要	正式名称	南部郷梅対策協議会	梅生育不良特別対策部会	南部郷梅対策協議会	梅生育不良特別対策部会	
	目的	紀州梅の振興と梅生産者の経営安定に寄与する。	梅生育不良の調査研究を行い、その対策を講じる。梅生育不良の原因研究と対策の確立のため特別部会を設置した。	紀州梅の振興と梅生産者の経営安定に寄与する。	梅生育不良の調査研究を行い、その対策を講じる。梅生育不良の原因研究と対策の確立のため特別部会を設置した。	
	組織・規模	南部川村、村議会、村農委、村農振、村果樹研究会、南部町、町議会、町農委、町農振、みなべ農協、農協梅部会、梅生育不良特別対策部会	清川・高城・岩代出荷会、農協梅部会上南部・南部支部、南部川村農委、村農振興、村果樹研究会、村農業士会、南部町農委、町農振、町地域リーダー協議会、町農業士会	南部川村、村議会、村農委、村農振、村果樹研究会、南部町、町議会、町農委、町農振、みなべ農協、農協梅部会、梅生育不良特別対策部会	清川・高城・岩代出荷会、農協梅部会上南部・南部支部、南部川村農委、村農振興、村果樹研究会、村農業士会、南部町農委、町農振、町地域リーダー協議会、町農業士会	
	主な事業	1. 関係機関との連帯を密にし銘柄産地の充実を図る。 2. 消費宣伝活動 3. 生産技術と品質向上のための調査研究	1. 梅生育不良本数調査 2. うめ総合実証園の運営 3. 日本一うめ産地支援事業の推進 4. 新たな土づくり資材や方法による樹勢維持回復の検討 5. 各地区モデル園・試験園の継続調査 6. 各種講習会・研修会の開催 7. その他	1. 関係機関との連帯を密にし銘柄産地の充実を図る。 2. 消費宣伝活動 3. 生産技術と品質向上のための調査研究	1. 梅生育不良本数調査 2. うめ総合実証園の運営 3. 日本一うめ産地支援事業の推進 4. 新たな土づくり資材や方法による樹勢維持回復の検討 5. 各地区モデル園・試験園の継続調査 6. 各種講習会・研修会の開催 7. その他	
	予算額	平成13年度 5,867千円 (南部町、南部川村、みなべ農協 各1/3)		平成13年度 5,867千円 (南部町、南部川村、みなべ農協 各1/3)		
	事務局	南部川村うめ課		南部川村うめ課		
	補助金	1,500千円		1,500千円		
行政との関わり (補助金)	補助目的	梅の消費拡大を図ると共に品質向上に努め、日本一のうめ産地を充実する	梅生育不良の原因究明と対策の確立を図るため	梅の消費拡大を図ると共に品質向上に努め、日本一のうめ産地を充実する	梅生育不良の原因究明と対策の確立を図るため	

南部町・南部川村合併協議会の調整内容

産業部会

協議項目	各種事務事業の取扱い	関係項目	農林業関係事業	
調整の方針	(案)			
	南 部 町	南 部 川 村	具体的な調整内容	
団体の概要	正式名称	市町村うめ対策協議会		
	目的	田辺市から南部郷にかけては、紀州の梅産地として全国1の梅生産量を誇っている。しかし、産地内では、昭和60年頃から、原因不明の生育不良が多発し始め、大変大きな問題となっている。この原因究明と対策の確立については、産地の中でもそれぞれの市町村が取り組みを行っているが、その情報交換を行い、連携を密にするとともに、県が実施する試験研究や事業との調整を図っていくため平成7年度から取り組んでいる。		
	組織	【田辺・南部・南部川・上富田・印南】		
	役員	会 長 脇中 孝 田辺市長 副会長 山田 五良 南部川村長 副会長 山崎 繁雄 南部町長		
	主な事業	梅生育不良の原因解明のため、関係市町村それぞれの取り組みを情報交換し、連帯を図っていくとともに、県が実施する試験研究や事業の調整を図っていく。 担当課長会議の開催 年間3回から5回 梅生育不良等梅関係研修の開催		
	予算額	500千円(均等割)		
	事務局	田辺市		
		南 部 町	南 部 川 村	具体的な調整内容
行政との関わり	運営補助金	市町村うめ対策協議会補助金 100千円	市町村うめ対策協議会補助金 100千円	
		地域全体の重要課題であり、密接な連帯を必要とするため	地域全体の重要課題であり、密接な連帯を必要とするため	